



© Yuki Asada

エチオピアの森がはぐくむコーヒー

エチオピア南西部のベレテ・ゲラ地域。その深い森に自生するコーヒーの木から、今日もまた、村人たちが真っ赤なコーヒーの実を一粒ずつ丁寧に摘み取っていく。

この地域は、貴重な森林生態系から生まれる「森林コーヒー」の産地として有名。しかし近年は、過度の伐採や人口増加による森林の減少が深刻な問題となっている。そこでJICAは、2006年より「ベレテ・ゲラ参加型森林管理計画フェーズ2」を実施。住民から成る森林管理組合（WaBuB）の組織化、WaBuBによる森林管理、コーヒーの生産・品質管理の改善を支援してきた。

そして、この森林コーヒーの商品化

を手掛けるのが、(株)生活の木の宇田川僚一専務取締役。これまでも、ガーナで採れるシアバターで作る石けんを日本で販売したり、地域の開発に役立つ“コミュニティートレード”に積極的に取り組んできた。

現在は、首都アディスアベバの仲介業者を通じて同地域で採れた生豆を輸入しているが、2010年には村人たちが手焙煎した豆を直接買い取り、日本で販売する計画だ。「現地の人は深い煎りのコーヒーを好みますが、日本人向けには少し煎りを浅くすとか、日本で売れるよう試行錯誤しています」。

森のおいを感じながら、ほろ苦いコーヒーを味わうー。何とも言えない、至福のひとつときだ。(31ページに関連記事)



ベレテ・ゲラ地域のコーヒーについて話す宇田川専務取締役(右)と西村勉JICA専門家

問:(株)生活の木
TEL:03-3409-1781
FAX:03-3400-4988
URL:<http://www.treeoflife.co.jp/>

★エチオピア森林コーヒーWaBuBを3人の方にプレゼント! 詳細は38ページへ

